

# 地域経済活性化拠点整備の推進体制について

**答** 議会のご意見も聞きながら方向性を定めていきたい  
**より効果的な施設づくりに  
ために**

**問** 9月定例会の一般質問において、検討会の専門性やメンバー構成等の提言を取り上げさせていたいただきました。しかしながら、執行部において、検討会を立ち上げて協議が始まっていることについて、私も含めて11月中旬までの議員も知る由がなかったと聞いています。議会に相談がないまま、検討会がスタートしたのではありませんか。

**副町長** 9月議会でご質問いただいた構成メンバー等については、子育て世代、女性、若者、多古高生、PTA代表、県職員など、幅広く選定しています。特に議会に相談がなかったということですが、議会を排除するとか、議会なしでやるとか、そういった考えはなく、いただいたご意見を踏まえて、幅広い層から構成を図って議論しています。

**問** 6月定例会後、議長や総務産業建設常任委員長も含めて、本計画について、今後の検討会立上げと推進体制構築の必要性について協議されたと承知しています。11月中旬まで、検討会の存在について、どの議



より一層優れた施設に向けた検討会議

員も知る由がなかったということは、執行部の意思のみで検討会を構成し、議会にも相談なくスタートしたということでしょうか。

**産業経済課長** まず、町として、いろいろな方々からの意見をお聞きする場を設けたという理由から検討会議を立ち上げた次第です。幅広い分野でのメンバー構成としており、今回は分野ごとに団体から推薦された方々で構成

# 消防団と地域防災の維持は

**答** 新たな班編成をする必要があると考えます

**安心して活動できる環境を**

**問** 人口減少地区における消防団と地域防災をどう維持していくのか伺います。

**町長** 著しく減少する地区、団員増加が難しい場合は地域防災力を維持するために班の統合や新たな班編成に取り込む必要があると考えます。

**問** 若い団員のために組織体制や活動内容をどのようにお考えですか。

**町長** 団全体の組織体制の見直しや活動内容についても消防団本部、団員と共に協議検討を重ねながら若い団員加入促進につながる改善に努めてまいります。

**問** 11月、消防団の未来を考える会が町長に質問と意見書を提出しました。どのような内容ですか。

**総務課長** 消防行事、消防団の体制の見直しと様々な意見をいただいております。それらのご意見は真摯に受け止めたと思っています。

**町長** 質問と意見書には、消防団の皆さまが、活動に大変ご

# のびのびと育つ学びを

**問** 多古町学校のあり方検討会の進捗、検討状況を伺います。

苦勞されている思いが書きつづられていました。地域防災を維持していくためには、町、常備消防、消防団本部、消防団、そして地域の方々も加え、これからの消防団のあり方について、同じ方向性を見いだしていく事が必要と感じていますし、その改善に向けて検討を進めてまいりたいと考えています。

**教育長** 小・中学校の将来を展望したあり方について幅広い見地から検討することを目的に、学校の統合・存続判断事例・小規模校のメリット等について情報を共有し、提言書の方向性について協議してまいります。

**問** 小規模校のメリットを生かした取り組みとは。

**学校教育課長** 授業において個別指導が充実し子どもと十分に向き合う時間ができることや表現力向上、自己肯定感の高まりが期待でき、さらには保護者や地区の方々の協力体制が図られていることも報告されています。

宇井伸征 議員

所要時間 124分



してまいります。この2回の検討会議でもいろいろな意見が出てきており、今後どのように絞って一本化していくかも、ご意見をお聞きしながら、進めていきたいと考えています。

**問** 検討会を立ち上げるにあたって、我々は何も聞かされていなかったのですが、どの議員にも相談しなかったということ、間違いありませんか。

**産業経済課長** 担当課として、一定の議員と相談をしたということはありません。

**問** 早い段階で協議させていただき、良いものを作っていくたい。議会の意見をまとめて、例えば特別委員会をつくって一緒に協議を進めていきたい。そのような考え方についてはいかがお考えでしょうか。

**産業経済課長** 検討会議の資料を議会に送致して議員の皆様に見覧していただく体制にしていますが、検討会議ではもっ

橋本 孝之 議員

所要時間 61分



**問** グローバルキャリア教育検討会の進捗と検討状況を伺います。

**教育長** 英語を使ってコミュニケーションを楽しみ、自分の考えを主体的に発信できるように児童・生徒の育成を目標に取り組んでいます。

と構想を練り上げるべきとの結論に至っています。議会としてのご意見をお聞かせいただきながら方向性を定めていけたらと考えています。

この検討会につきましては、地方公共団体における諮問機関の一種だと認識しています。諮問機関は行政の諮問に応じて、学識経験者や有識者、専門家などが、審議及び調査に基づいて提言をするものです。個人的に感じたことですが、今回の検討会は、学識経験者や有識者、専門家などが少ないように思います。執行部が諮問機関を設けることに異論はありません。しかし、この検討会は、議会からその計画策定や事業推進について、全権委任されたものではないことを理解しなければなりません。

地域経済活性化拠点整備計画は、検討会と議会が三元代表制のあるべき姿に基づき、しっかりとした意見を協議しながら進めていかなければならないものだと思います。

# このほかの質問

- 航空機騒音対象区域の住民対応について
- 多古町の航空教育について
- 多古米生産、水稲農業の未来について
- 学校給食について
- 有害鳥獣対策（イノシシ）について

**問** 生きた英語をどのように学ぶのか伺います。

**教育長** 生きた英語を学ぶには外国人ALTの活用、タブレット端末を活用したオンライン会話など、さらには成田空港に向向き、外国人と交流することなどを考えています。

**問** 地域と共にある学校づくりについて伺います。

**教育長** 今年度、町にて地域学校協働本部を立ち上げ、地域と学校をつなぐ取組みを進めています。地域と学校がパートナーとして連携協働し、地域と共にある学校、地域づくりの拠点としての学校という役割は重要と考えます。

**問** ICT教育の現状を伺います。

**教育長** 児童生徒の主体的対話的にタブレット端末、電子黒板を日常的に活用し効果的な事業が展開されています。

**問** ICTアドバイザーはどのような仕事をされるのですか。

**教育長** 授業におけるICTの効果的な活用方法について個別に支援しています。また課題についてヒアリングし、今後のプログラミング教育の実践に向けたロードマップの作成を行う予定です。



子どもたちにより良い学びを